

大阪ゲヴァントハウス合唱団創立30周年記念演奏会

歌の絆 ～東日本への祈りをこめて～

Bach MAGNIFICAT

バッハ マニフィカト ニ長調

～カメラータ・ヴォカーレ・ベルリンと共に～

モーツァルト レクイエム ニ短調

Mozart REQUIEM

指揮 エッタ・ヒルスベルク

ソプラノ エスター・ヒルスベルク

メゾソプラノ 三井 ツヤ子

テノール 波多野 貞

バリトン 田中 勉

(Bach MAGNIFICAT: 第二ソプラノ) 大谷 志穂

管弦楽 大阪チェンバーオーケストラ

オルガン ハイコ・ホルトマイアー

合唱 カメラータ・ヴォカーレ・ベルリン

大阪ゲヴァントハウス合唱団



'07年バッハ『ヨハネ受難曲』(ベルリンコンツェルトハウス 大ホール)



Etta Hilsberg



Ester Hilsberg



Tsuyako Mitsui



Hitoshi Hatano



Tsutomu Tanaka

2012 10/7 (日)

13:30 開演 (開場 12:45)

東日本大震災の翌日、ベルリンから安否を気遣う電話がありました。1ヶ月もしないうちに再度電話があり、日本とドイツの両方で、犠牲者への追悼の想いを込めて、モーツァルトによる鎮魂歌を演奏することに決定しました。エッタ・ヒルスベルク指揮のモーツァルトの「レクイエム」、はじめに日本公演です。

兵庫県立芸術文化センター

KOBELCO 大ホール (阪急西宮北口下車 直結)

チケット代 S席 5,000円 (指定席) / A席 4,000円・B席 3,000円 (当日指定)

◇未就学児童の入場は、ご遠慮下さい ◇当日指定=当日12:00より大ホールチケット窓口にて座席券と交換

主催 ■大阪ゲヴァントハウス合唱団 チケット取扱い ■大阪アーティスト協会 050-5510-9645 チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 171-674)

ローソンチケット 0570-084-005 (Lコード: 56909) 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255

後援 ■大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館・大阪音楽大学・カトリック大阪大司教区・日本聖公会大阪教区・京都ゲヴァントハウス合唱団・カメラータ・ヴォカーレ・ベルリン

マネジメント ■大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503/FAX06-6135-0504 e-mail: artists@gol.com

*本公演では大阪ユニセフ協会を通じて東日本大震災被災地の子どもたちのための募金活動を行います。

「絆」のコンサート

日下部吉彦

不幸な出来事が、お互いの親密度を増すきっかけになることがあります。東日本大震災が起きて、世界中から支援の声や金品が、たくさん日本に寄せられるようになりました。人間て、すばらしいと痛感します。

そんな気持ちを表現するのに最適な方法は、音楽です。とりわけ合唱は、たちまちに人々の心をひとつにします。大阪ゲヴァントハウス合唱団創立30周年記念演奏会は、まさにそのようなコンサートです。はるばるベルリンから「カメラータ・ヴォカレ・ベルリン」がやってきて、日本の合唱仲間たちとモーツァルトの『レクイエム』を歌い、大震災犠牲者の霊に捧げ、さらには、来年3月に、ベルリン・コンツェルトハウスでも、同じ趣旨のコンサートを開きます。こうして「歌の絆」が広がる先の天国に、合唱団の創始者林達次先生、偉大な指導者浦山弘三先生がおられるのです。

おふたりに、この歌声が届きますように。

(大阪音楽大学客員教授・音楽評論家)

エッタ・ヒルスベルク (Etta Hilsberg 指揮)

14歳の時から教会オルガニストをつとめる。ベルリンで教会音楽を学び、ウィーンでは声楽指導のメソッドを学ぶ。ベルリン各地の教区で教会オルガニストと教会音楽監督を歴任したのち、'85年にカメラータ・ヴォカレ・ベルリンを創設、みずから団員の発声指導につとめ、ベルリンで有数のアマチュア合唱団に育て上げた。同合唱団とともに、'89年からベルリン・フィルハーモニーとコンツェルトハウス・ベルリンで定期的に演奏会を開催し、'02年からはベルリン独立州文化庁から継続的に助成を受けてきた。ベルリン・コンツェルトハウス・オーケストラ、ベルリン・ドイツオペラ劇場オーケストラをはじめ、各地の著名オーケストラと共演、ヨーロッパ内のほか、アメリカ合衆国や日本への演奏旅行もおこなう。それ以外にもフリーの指揮者ならびに音楽教育者として国内外で活躍してきた。合唱指導者としての長年の功績に対し、'10年5月、ベルリン合唱協会から「メンデルスゾーン姉弟メダル」を授与される。

大阪ゲヴァントハウス合唱団 (Gewandhauschor Osaka)

'82年、林達次(1924-2003)により創設。ヨーロッパの宗教音楽を中心に国内外で活動を展開。'05年より波多野均を常任指揮者に迎える。'06年いずみホールにおける第17回定演では美しい響きと高度なテクニックで音楽性を豊かに表現したとの高い評価を得た。エッタ・ヒルスベルク指揮カメラータ・ヴォカレ・ベルリンとは、'02年モーツァルト『レクイエム』、'04年ブラームス『ドイツレクイエム』、'06年バッハ『マタイ受難曲』、'07年バッハ『ヨハネ受難曲』、'08年ハイドン『四季』を協働演奏し、波多野の指導による的確なドイツ語と音楽表現で、大阪とベルリンの聴衆を感動で包み込んだ。'08年7月、NHK大阪ホールでのA.グロスマン指揮によるハイドン『四季』では単独演奏を行い、絶賛を博した。同年、国内に国際交流室を設置。'09年1月、親鸞聖人と讃曲集『本願力にあいぬれば』(平田聖子作曲)をCD収録(カメラータトウキョウ・好評発売中)。12月6日京都ゲヴァントハウス合唱団と共に、林達次メモリアルコンサート・メンデルスゾーン『エアラス』を好演した。昨年5月、伊賀市文化会館での東日本大震災、波多野均チャリティーコンサート〜大阪ゲヴァントハウス合唱団と共に〜に出演した。

カメラータ・ヴォカレ・ベルリン (Camerata Vocale Berlin)

'85年にエッタ・ヒルスベルクによって創設されたこの合唱団は、'89年以来ベルリン・フィルハーモニーホールならびにコンツェルトハウス・ベルリンで年4回の演奏会をこなす、ベルリンを代表するオラトリオ合唱団として高い評価を受けてきた。レパートリーとしては、バッハ、メンデルスゾーンなどの著名なオラトリオ作品を多数上演するかわら、知られざる名作やバッハ『マルコ受難曲』のような復元作品の演奏にも取り組み、多くの現代作曲家の初演も手がけている。ドイツ国内の他に、演奏旅行のためにハンガリー、ポーランド、アメリカ合衆国、日本へも赴いた。とくに日本では'02年の演奏旅行以来、大阪ゲヴァントハウス合唱団と協働を続け、日本とドイツの双方で合同の演奏会を繰り返しおこなってきた。今回は記念すべき10年目の合同演奏会にあたる。

大阪チェンバーオーケストラ (Osaka Chamber Orchestra)

'76年、関西室内楽協会を設立以来、島之内教会での月例チャペルコンサートを開催。'06年11月、300回記念演奏会を迎えた。現在355回を重ね大阪天満教会で継続している。また、京都バッハ合唱団とのバッハ教会カンタータ全曲演奏会も36回を数え、'02年、ドイツライプツィヒでのバッハフェスティバルに招聘された折の演奏は高く評価された。バッハのカンタータやオラトリオなどの演奏には定評があり各地の合唱団との共演も多い。'89年、大阪市「咲くやこの花賞」受賞。

ベルリンでモーツァルト『レクイエム』を歌いませんか？

2013年3月7日ベルリンコンツェルトハウスにて

大阪ゲヴァントハウス合唱団では随時団員募集中です。

通常練習 木曜日 18:30~21:00 大阪産業創造館

問い合わせ e-mail: osgewand@hotmail.co.jp

ホームページ http://osaka-gewandhausmusic.coccan.jp

Bach MAGNIFICAT Mozart REQUIEM

エスター・ヒルスベルク (Ester Hilsberg ソプラノ)

ケルン音楽院で声楽、作曲、指揮を学び、最優秀の成績を得て声楽で卒業する。クルト・モルをはじめ、多くの著名な歌手のマスタークラスを訪れて研鑽を積む。'09年バッサウの声楽コンクールで賞を受ける。マイニンゲン、フライベルク、ハルバーシュタットの劇場付きの歌手をつとめる傍ら、デュッセルドルフ・ライン・オペラ劇場、ベルリン・ドイツオペラ劇場、ソウル国立オペラ劇場など国内外の劇場で客演、数多くの演目をこなしてきた。コンサート歌手としても、ベルリン・フィルハーモニー、ミュンヘン・ヘラクレスホールなどで、ソリストをつとめてきた。作曲家としては自らプロデュースも手がけるケルン・室内オペラ劇場のために子ども向けオペラ作品『くるみ割り人形』('07初演)、『中国のナイチンゲール』(同'09)を作曲、ドイツ各地の劇場での再演がおこなわれている。また、『クリスマス・オラトリオ』(初演'10)、『地獄のダンテと天国への道』(同'05)などオラトリオ作品も手がけている。

三井ツヤ子 (みつい つやこ メゾソプラノ)

京都市立芸術大学音楽学部声楽科首席卒業。学生時代、故植田治男、佐々木成子各氏に師事。ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科に留学。故エリック・ヴェルバ氏、故アリーン・オジェー女史に師事。'78年から'86年までフランクフルト、カールスルーエ両国立音楽大学の声楽講師として教鞭を執るかたわら演奏活動を続けてきた。オペラ『ヘンゼルとグレーテル』のヘンゼル、『どろぼうとオールドミス』のミストッド、『おこじょうり』のばばさま等を演じる。'84、'85年シュトゥットガルトでのバッハ夏期講習、'87年シュバイヤ、'95、'97、'99年ドイツ・マタイザー夏期講習の講師として活躍。日本モーツァルト音楽コンクール、宝塚バグ音楽コンクールの各声楽部門及び国際ノーヴィコンクール、J・S・G国際歌曲コンクールの審査を務めた。京都市立芸術大学名誉教授、同志社女子大学嘱託講師。関西二期会会員、日本シューベルト協会理事。財高槻市文化事業団理事。

波多野 均 (はたの ひとし テノール)

愛知県立芸術大学大学院修了。ウィーン国立音楽大学卒業(最優秀ディプロマ取得)。ザルツブルク国際モーツァルトコンクール第3位、旧東ドイツ・オペラ歌手コンクール第2位入賞。マクデブルク、並びにアーヘン市立歌劇場に専属契約の傍ら、ウィーン室内歌劇場、ルツェルン市立歌劇場他に客演。リリック・テノールとして約30演目のオペラに出演。一方コンサート歌手として、ベルリン・フィルハーモニー、ウィーン楽友協会、ライプツィヒ聖トマス教会や、「ブラハの春」、「シュトゥットガルト国際バッハ・アカデミー」等、著名な音楽祭に客演。特に、バッハ・モーツァルト歌のテノールとして高い評価を博す。中でも、『マタイ受難曲』等に於ける、エヴァンゲリスト(福音史家)としての出演回数は100回を超え、ヨーロッパの各紙上で「圧倒的な力量」と絶賛された。'92年帰国。現在、京都市立芸術大学、名古屋音楽大学、大阪音楽大学大学院、各講師。全日本学生音楽コンクール審査員。大阪ゲヴァントハウス合唱団常任指揮者。

田中 勉 (たなか つとむ バリトン)

大阪音楽大学大学院歌劇専攻修了。オペラの振り出しは『フィガロの結婚』、『ファルスタッフ』、『リゴレット』のタイトルロールで絶賛を博す。'84年文化庁芸術家国内研修員。'90~'91年文化庁芸術家在外派遣研修員としてウィーン国立音楽大学に留学。帰国後、『椿姫』『蝶々夫人』『道化師』他多数のオペラに出演。ルーマニア・ヤシ歌劇場より招聘、リサイタルを行う。『なみはや国体』開会式と閉会式で『君が代』を、その他、『第九』やオラトリオのソリストとしても、全国的に活躍中。第22回なにわ芸術祭新人奨励賞、第1回JSG国際歌曲コンクール聴衆特別賞を受賞。大阪府和泉市より文化功労賞を受ける。'01年、第20回音楽クリティック・クラブ本賞を受賞。'04年、大阪舞台芸術賞本賞を受賞。'10年、文化庁芸術祭優秀賞受賞。現在、大阪音楽大学教授。関西歌劇団理事。日本シューベルト協会会員。